

拠出金名: 国際連合婦人開発基金

国際機関等名	国際連合婦人開発基金 (英文名称・略称) United Nations Development Fund for Women (UNIFEM)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当局課名		外務省総合外交政策局人権人道課				
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成18年度	78,430	707		1\$ =111円	(2006年) 2.34	100
平成17年度	85,250	797		1\$ =107円	(2005年) 3.47	100
平成16年度(*)	199,584	1,814		1\$ =110円	(2004年) 3.57	100
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2006年度決算)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 39,446千ドル		
1位	英国	5,613	18.6	当該年度の支出 25,001千ドル		
2位	スペイン	3,949	13.1	次年度への繰越 14,445千ドル		
3位	スウェーデン	3,429	11.3	会計検査機関名		
4位	米国	3,219	10.6	国連会計検査委員会(UN Board of Auditors) UNDP監視・監査操作部(UNDP Oversight and Audit Review Department)		
5位	ノルウェー	3,093	10.2			
上記の率及び順位は2006年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
ジェンダーの視点は国連の経済社会分野のみならず、紛争予防・解決・復興の分野等でも重要となっている。我が国は2005年3月に開催された第49回国連婦人の委員会においてジェンダーと開発(GAD)イニシアティブを立ち上げたが、ジェンダー主流化の取組を強力に推進するためには、UNIFEMとの協力関係をさらに深めていく必要がある。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
機能強化を目指し、ドナーベースの拡大努力、職員のキャパシティービルディングを進めている。また、前回の多年度資金枠組(2000-2003)と比較して、ノンコア拠出をおよそ3倍に伸ばしていることも評価できる。						

「邦人職員数うち幹部以上」以下の項目については、「女性に対する暴力撤廃のための国際連合婦人開発基金信託基金」(p.21)参照

(*)スマトラ沖大地震及びインド洋津波被害に関するUNIFEMを経由した緊急人道支援(100万ドル(予備費))を含む。

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。